

平成29年度事業計画

支部協会並びに関係諸団体・組織との連携・協力のもと、ウエイトリフティング競技の発展と普及を図るため各種事業を推進する。

長期計画を、選手強化、競技人口の拡大、国際レベルの競技運営能力、国際発信力の向上並びに財政の確立の面から策定し、2020年オリンピック東京大会に万全の体制で臨めるように段階的に推進する。

第32回オリンピック競技大会（2020/東京）での男女のメダル獲得並びに入賞を目標に国立スポーツ科学センターとの連携と味の素ナショナルトレーニングセンターの活用のもと、オリンピック特別対策強化戦略プランに基づいた選手強化を進める。

世界ジュニア選手権大会を東京で開催し、競技力・運営能力・国際発信力・競技の振興を図る。恒久的にオリンピック競技大会で活躍できる選手を育成するため、ナショナルトレーニングシステム（競技者育成プログラム）の充実を図り、特に、2024年オリンピック大会対策を推進する。

財政の確立を図り、ガバナンスの向上に努め社会的責任を自覚し、公益社団法人としての使命を果たす。

【公益事業】

I. 競技力向上事業

1. 選手強化事業

競技者が人間の可能性の極限を追求し、国内外の競技会等で活躍することは、国民に誇りや喜び、夢と感動をもたらすと同時に競技の普及・振興に寄与するものである。この目的達成のために、以下の選手強化及び指導者育成に取り組むものである。また、スポーツ医科学の面から支援する必要がある、国立スポーツ科学センターの各種サポートを活用し効果的な事業を展開する。

(1) 国内合宿

公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、強化拠点である「味の素ナショナルトレーニングセンター専用練習場」を中心に、国際競技力の向上を目標に実施する。

また、2020年東京オリンピック大会対策として、ナショナル以外の若干選手（ターゲット選手）を対象に強化を推進する。

No.	合 宿 名	期 間	指導者数	選手数	場 所
<b>【通年合宿】</b>					
1	国内合宿 1 (4月通年合宿 男女)	4/01～4/30	2名	2名	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (5月通年合宿 男女)	5/01～5/31	2名	2名	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (6月通年合宿 男女)	6/01～6/30	2名	2名	東京都 NTC
4	国内合宿 4 (7月通年合宿 男女)	7/01～7/31	2名	2名	東京都 NTC
5	国内合宿 5 (8月通年合宿 男女)	8/01～8/31	2名	2名	東京都 NTC
6	国内合宿 6 (9月通年合宿 男女)	9/01～9/30	2名	2名	東京都 NTC
7	国内合宿 7 (10月通年合宿 男女)	10/01～10/31	2名	2名	東京都 NTC
8	国内合宿 8 (11月通年合宿 男女)	11/01～11/30	2名	2名	東京都 NTC
9	国内合宿 9 (12月通年合宿 男女)	12/01～12/31	2名	2名	東京都 NTC
10	国内合宿 10 (1月通年合宿 男女)	1/01～1/31	2名	2名	東京都 NTC
11	国内合宿 11 (2月通年合宿 男女)	2/01～2/28	2名	2名	東京都 NTC
12	国内合宿 12 (3月通年合宿 男女)	3/01～3/31	2名	2名	東京都 NTC

No.	合 宿 名	期 間	指導者数	選手数	場 所
<b>【ナショナル合宿】</b>					
1	国内合宿 1 (ナショナル合宿 男子)	4/10～4/21	4名	10名	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (ナショナル合宿 女子)	4/12～4/21	4名	10名	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (世界選手権大会候補合宿 女子)	5/03～5/18	3名	7名	福島県 郡山市
4	国内合宿 4 (世界選手権大会候補合宿 男子)	5/08～5/25	3名	5名	東京都 NTC
5	国内合宿 5 (世界選手権大会候補合宿 男子)	6/26～7/09	4名	10名	東京都 NTC
6	国内合宿 6 (世界選手権大会候補合宿 女子)	7/02～7/15	3名	10名	新潟県 津南町
7	国内合宿 7 (ユニバーシアード代表合宿 男女)	7/10～7/16	5名	12名	東京都 NTC
8	国内合宿 8 (ドイツチームとの合同合宿 男子)	7/22～8/05	4名	10名	東京都 NTC
9	国内合宿 9 (大学選抜合宿 男女)	8/01～8/10	5名	16名	新潟県 津南町
10	国内合宿 10 (世界選手権大会候補合宿 女子)	8/03～8/15	5名	10名	高知県 高知市
11	国内合宿 11 (ユニバーシアード代表合宿 男女)	8/11～8/19	5名	12名	新潟県 津南町
12	国内合宿 12 (世界選手権大会候補合宿 男子)	9/10～9/20	5名	10名	北海道 士別市
13	国内合宿 13 (世界選手権大会候補合宿 女子)	9/10～9/23	5名	10名	宮崎県 宮崎市

No.	合 宿 名	期 間	指導者数	選手数	場 所
14	国内合宿 14 (アジアインドアゲーム事前合宿 男女)	9/10～9/16	4名	8名	東京都 NTC
15	国内合宿 15 (世界選手権大会代表合宿 女子)	10/10～11/04	5名	10名	東京都 NTC
16	国内合宿 16 (世界選手権大会代表合宿 男子)	10/16～11/04	5名	10名	東京都 NTC
17	国内合宿 17 (世界選手権大会代表合宿 女子)	11/06～11/27	5名	10名	東京都 NTC
18	国内合宿 18 (世界選手権大会代表合宿 男子)	11/06～11/27	5名	10名	東京都 NTC
19	国内合宿 19 (2018年世界選手権候補合宿 女子)	12/10～12/21	3名	10名	沖縄県 国頭村
20	国内合宿 20 (2018年世界選手権候補合宿 男子)	12/10～12/21	3名	6名	東京都 NTC
21	国内合宿 21 (2018年世界選手権候補合宿 男子)	1/08～1/20	3名	10名	沖縄県 国頭村
22	国内合宿 22 (2018年世界選手権候補合宿 女子)	1/09～1/21	3名	10名	高知県 高知市
23	国内合宿 23 (2018年世界選手権候補合宿 男子)	2/04～2/12	3名	10名	東京都 NTC
24	国内合宿 24 (大学選抜合宿 男子)	2/10～2/23	3名	12名	沖縄県 国頭村
25	国内合宿 25 (2018年世界選手権候補合宿 男子)	3/04～3/23	3名	7名	東京都 NTC
26	国内合宿 26 (2018年世界選手権候補合宿 女子)	3/12～3/24	3名	10名	福島県 郡山市

No.	合 宿 名	期 間	指導者数	選手数	場 所
	<b>【ターゲットエイジ合宿】</b>				
1	国内合宿 1 (世界ジュニア選手権代表合宿 男女)	5/01～5/07	7名	16名	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (高校選抜合宿 男女)	5/03～5/05	10名	20名	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (世界ジュニア選手権代表合宿 男女)	6/10～6/15	9名	16名	東京都 NTC
4	国内合宿 4 (アジアジュニア・ユース事前合宿 男女)	7/15～7/20	6名	10名	東京都 NTC
5	国内合宿 5 (中学選抜合宿 男女)	7/29～7/31	10名	15名	東京都 NTC
6	国内合宿 6 (日韓中ジュニア交流会事前合宿 男女)	8/19～8/22	5名	16名	茨城県 石岡市
7	国内合宿 7 (中学選抜合宿 男女)	10/13～10/15	10名	15名	東京都 NTC
8	国内合宿 8 (2018世界ジュニア選手権候補合宿 男女)	1/07～1/14	5名	16名	東京都 NTC
9	国内合宿 9 (中学選抜合宿 男女)	1/26～1/28	10名	15名	東京都 NTC
10	国内合宿 10 (ターゲット特別強化合宿 男子)	3/12～3/22	4名	10名	東京都 NTC
11	国内合宿 11 (ターゲット特別強化合宿 女子)	3/12～3/22	4名	12名	石川県 金沢市

(2) 海外合宿

- ① 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際力（国際人の養成）及び国際競技力の向上を目標に実施する。  
 合宿名： 大学生海外合宿（米国）  
 期 間： 平成30年2月5日～2月25日  
 場 所： アメリカ合衆国ルイジアナ州立大学シュリーブポート校  
 参加者： 指導者2名、選手5名、計7名
- ② 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際的視野の向上及び次年度の国際大会に向けての強化を推進する。  
 合宿名： 女子2018年対策海外合宿（中国山東省）  
 期 間： 平成30年2月10日～2月23日  
 場 所： 中華人民共和国 山東省 拳重センター  
 参加者： 指導者4名、選手12名、計16名
- ③ 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、2018年国際大会に向けての強化を推進する。  
 合宿名： 女子ナショナル海外合宿（USA）  
 期 間： 平成30年2月12日～2月24日  
 場 所： グアム（レオパレス21）  
 参加者： 指導者2名、選手5名、計7名
- ④ 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、ヨーロッパの情報収集及び2018年国際大会に向けての強化を推進する。  
 合宿名： 男子ナショナル海外合宿（ドイツ）  
 期 間： 平成30年2月13日～2月24日  
 場 所： ドイツ連邦共和国 ベルリン（キンバレースポーツセンター）  
 参加者： 指導者3名、選手10名、計13名

(3) 外国チームとの合同合宿

- ① 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、両国の強化システム及び理論等の情報の交換及び国際大会に向けての強化を推進する。

合宿名 : ドイツナショナルチームとの合同合宿  
期間 : 平成29年7月22日～8月5日  
場所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター  
参加者 : 指導者3名、選手9名、計12名(ドイツチーム)

- ② 公益財団法人日本オリンピック委員会及び韓国・国民生活体育会との共催事業であり、次代を担う若手選手の育成と国際交流を促進を目的に、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、次のとおり実施する。

合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業(派遣)  
期間 : 平成29年10月24日～10月29日  
場所 : 大韓民国  
参加者 : 指導者5名、選手16名(男子8名、女子8名)、計21名

合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業(受入)  
期間 : 平成29年12月2日～12月7日  
場所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター  
参加者 : 指導者(日本5名、韓国5名)選手(日本16名、韓国16名)計42名  
選手は、男子8名、女子8名とする。

(4) 国際競技会への派遣

国際競技力の評価は、国際競技会での成績が中心となる。本会は、恒久的オリンピック選手育成の観点(一定レベルの競技力を有する)から年代別の競技会に優秀選手を派遣し競技力の向上に資する。

JOCのチーム派遣事業として、次の大会へ選手・指導者を派遣する。

- ① 世界ユース選手権大会「ターゲットエイジ強化事業」

開催期間 : 平成29年4月4日～4月10日  
派遣期間 : 平成29年4月1日～4月11日  
場所 : タイ王国 バンコク市  
派遣人数 : 指導者7名、男子選手6名、女子選手6名、計19名

- ② アジア選手権大会「NF強化事業」

開催期間 : 平成29年4月25日～4月28日  
派遣期間 : 平成29年4月21日～4月29日  
場所 : トルクメニスタン アシガバード市  
派遣人数 : 指導者5名、選手10名、計15名

- ③ 世界ジュニア選手権大会「ターゲットエイジ強化事業」

開催期間 : 平成29年6月16日～6月23日  
派遣期間 : 平成29年6月13日～6月24日  
場所 : 東京都 大田区総合体育館  
派遣人数 : 指導者8名、男子選手8名、女子選手8名、計24名

- ④ アジアユース・ジュニア選手権大会「ターゲットエイジ強化事業」

開催期間 : 平成29年7月24日～7月28日  
派遣期間 : 平成29年7月21日～7月30日  
場所 : ネパール王国 カトマンズ市  
派遣人数 : 指導者5名、選手10名、計15名

- ⑤ アジアインドアゲーム「NF強化事業」

開催期間 : 平成29年9月 日～9月 日  
派遣期間 : 平成29年9月17日～9月27日  
場所 : トルクメニスタン アシガバード市  
派遣人数 : 指導者3名、選手5名、計8名

- ⑥ 世界選手権大会(男子)「NF強化事業」

開催期間 : 平成29年11月28日～12月6日  
派遣期間 : 平成29年11月22日～12月8日  
場所 : アメリカ合衆国 アナハイム市  
派遣人数 : 指導者6名、選手8名、計14名

- ⑦ 世界選手権大会（女子）「NF強化事業」  
 開催期間：平成29年11月28日～12月6日  
 派遣期間：平成29年11月22日～12月8日  
 場 所：アメリカ合衆国 アナハイム市  
 派遣人数：指導者6名、選手8名、計14名

JOCの直轄事業（チーム派遣事業）として、次の大会へ選手・指導者を派遣する。

- ① ユニバーシアード大会  
 開催期間：平成29年8月20日～8月25日  
 派遣期間：平成29年8月16日～8月27日  
 場 所：台湾 タイペイ市  
 派遣人数：指導者7名、男子選手6名、女子選手6名、計19名

- (5) チーム招待  
 日本・韓国・中国三ヶ国の持ち回り大会として、ナショナル選手に次ぐ選手を対象に階級1名を基本に優秀選手を招待し、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として実施する。

- ① 日韓中フレンドシップ大会  
 開催期間：平成29年11月11日・11月12日  
 招待期間：平成29年11月9日～11月14日  
 場 所：北海道士別市 士別総合体育館  
 招待人数：韓国 指導者10名、男子選手8名、女子選手8名、計26名  
 中国 指導者10名、男子選手8名、女子選手8名、計26名  
 派遣人数：日本 指導者8名、男子選手8名、女子選手8名、計24名

- (6) 国際交流大会  
 アジア近隣諸国との友好親善を目的に公益財団法人日本体育協会が主催する標記大会への協力と選手団の人選を行う。

- ① 日韓中ジュニア交流競技会  
 派遣期間：平成29年8月23日～8月29日  
 大会期間：平成29年8月25日・8月26日  
 場 所：日本 茨城県高萩市 高萩市文化センター大ホール  
 参加人数：各国共、次の人数とする。女子の1階級増については、本年5～6月に開催される3ヶ国代表者会議により次年度以降の変更となる予定。  
 指導者5名、男子選手8名、女子選手7名、計20名

- (7) スポーツ医科学研究事業との連携に基づく強化

- ① 国立スポーツ科学センターから次のトータルサポートを受ける。  
 ア) 栄養、心理、トレーニング、情報、科学の各分野が連携した医・科学支援を、継続して依頼する。  
 イ) ウェイトリフティングの技術について、世界ジュニア選手権大会及び国内各種大会での高速ビデオカメラ撮影、動作解析し、選手・指導者へのフィードバックを依頼すると共に、その内容について全国指導者研修会・会報等を通して周知を図り競技力の向上に資する。  
 ウ) フィットネスの面では、体力の把握に基づくトレーニング効果の検証とトレーニングの方向性の客観的指標の提示を依頼する。  
 ② 日本スポーツ振興センターの女子対象のマルチサポート事業により動作解析と足底圧測定が連動したシステムが完成したことから効果的な運用を図る。  
 ③ ミズノスポーツ振興財団の助成により、競技時における外傷・障害発生率は海外の主要な大会のに関する報告よりは低値であるが、障害の有病率は比較的高いのが実情である。本年も、引き続き従来の外傷・障害調査を対象とする競技会の数を増やすとともに、国内で開催の世界ジュニア選手権大会においても調査し比較検討する。この結果により、チーム単位で実施可能な予防プログラムの素案の作成をする。  
 ④ 主要競技会において医科学委員会の医師等が医事運営にあたり、競技会時の安全管理・危機管理の向上をめざすと共に外傷・障害の発生頻度の調査・分析を行う。  
 ⑤ 高齢化社会の健康寿命の阻害要因として、メタボリックシンドローム、運動器症候群、認知症が挙げられる。予防の第一は継続的な運動（スポーツ）の実践といえる。若年者から高齢者までを対象とした運動器トレーニングを実践している団体の普及と支援を行い、評価基準を作成する。

(8) ナショナルコーチの推薦  
公益財団法人日本オリンピック委員会のナショナルコーチ事業制度を活用し、ナショナルコーチ及びアシスタントナショナルコーチを推薦する。

(9) コーチの推薦  
味の素ナショナルトレーニングセンター専用施設の有効活用と選手強化のコーチングの任に当たるために、公益財団法人日本オリンピック委員会の専任コーチ等設置事業制度を活用し、NTC担当・ジュニアコーチングディレクターの2名を推薦する。

## 2. コーチの資質向上を目的とする事業

### (1) 競技者育成プログラム研修会

初心者からトップレベルの競技者に育成するためには、発達段階に応じた年代別育成プログラム（一貫指導システム）に基づき指導を継続することが重要である。年末に実施するジュニアエリート研修合宿及びジュニアユース研修合宿の指導を統一するために中心となる指導者を対象に事前に研修を行い、合宿を効果的なものにする。

期 日 平成29年12月9日・12月10日  
会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者 2名、参加者 12名

### (2) 全国指導者研修会

ウェイトリフティング指導者の資質と指導力の向上及び指導者間の情報交換並びに連携を図ることを目的に開催する。

期 日 平成30年2月10日～2月11日  
会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者 5名、参加者 50名

### (3) 日本体育協会公認スポーツ指導者専門教科講習会講師の派遣

日本体育協会の委託事業として次の3事業を実施する。

#### ① 日本体育協会公認スポーツ指導者「指導員」養成（専門教科）講習会

期 日 平成29年9月15日～9月18日  
時 間 30時間  
会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者 8名、受講者 20名（予定）

#### ② 日本体育協会公認スポーツ指導者「コーチ」養成（専門教科）講習会

期 日 平成29年12月23日～12月25日（前期）  
期 日 平成30年1月6日～1月7日（後期）  
時 間 40時間  
会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者 8名、受講者 20名（予定）

#### ③ スポーツ指導者競技別講師全国研修会

期 日 平成30年2月24日～2月25日  
時 間 14時間  
会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者 8名、受講者 20名（予定）

### (4) ウェイト・ワークアウトコーチ育成事業

民間のフィットネスクラブ・ワークアウト施設で幅広くウェイトリフティング種目、補助種目が教えられていることから、これらの施設指導者に対し、正しいトレーニング技術を教える事業を新設する。

## II. 競技者育成事業

### 1. 研修合宿開催

一貫指導システム（ナショナルトレーニングシステム）の理念と方法に基づき、競技者の発掘及び育成を図ることを目的に次の研修合宿を実施する。

この事業は、（スポーツ振興くじ助成事業）として補助を受けて開催する。

#### (1) 中学生・高1研修合宿（ディベロップメント）

① 支部協会に中学生及び高校1年生の優秀競技者の情報提供を依頼し、選手強化委員会の専門グループがセレクションした選手を対象に研修合宿を実施する。

期 間 : 平成29年 8月10日～ 8月13日（3泊4日）  
場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者 : 15名  
参加者 : 30名

- ② 上記①に参加した中学生及び高校1年生の競技者の中から、選手強化委員会の専門グループが厳選した選手を対象に研修合宿を実施する。

期間：平成30年 2月 9日～ 2月12日（3泊4日）  
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者：7名  
参加者：15名

- (2) 大学生研修合宿（ジュニア スペリオリティー）

各種競技会の成績を基に、ジュニア年代の学生をセレクションし、中央にて研修合宿を実施する。

期間：平成29年 9月11日～ 9月15日（4泊5日）  
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者：6名  
参加者：30名

- (3) ジュニアエリート研修合宿

各種競技会の成績を基に、優秀な高校2・3年生をセレクションし、中央にて研修合宿を実施する。

期間：平成29年12月22日～12月27日（5泊6日）  
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター  
指導者：12名  
参加者：34名

- (4) ジュニアユース研修合宿

支部協会よりの優秀競技者の情報及び各種競技会の成績を基に、優秀な中学生及び高校1年生を対象に全国を6地区に区分して研修合宿を実施する。

期間：平成29年12月23日～12月27日（4泊5日）  
場所：全国を（北海道・東北、関東、北信越・東海、近畿、中国・四国、九州）6地区に分けて実施する。  
指導者：各地区5名の計30名  
参加者：各地区10名の計60名

## 2. 2020年対策競技者発掘・育成事業支援

2020年対策として、新規に地方で競技者の発掘・育成を開始する事業についての財政的支援を行う。

## III. 振興・教育事業

会員の状況及び役員・選手の登録を把握し、競技者規程・競技規則の周知、記録の公認、審判員の養成、国際交流、アンチドーピング活動及びコンプライアンスの徹底等は、競技の透明性や公平・公正性を向上させることに繋がり、安全かつ公正な環境下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件である。スポーツを通じて、他者を尊重しこれを共同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を培っていくためにも重要であることから次の事業を行う。

- (1) スポーツ外交推進事業

外務省及びスポーツ庁の委託・支援を受けて、次の事業を展開する。

- ① スポーツ庁の委託事業としての、IF役員ポスト獲得支援事業に応募し、IWF副会長又は理事のポストを獲得することにより、早期の情報収集、日本の発信能力の向上を高める体制を構築する。

・ 世界ユース選手権大会へ関係者を派遣し、情報収集・分析及び人脈形成、支持の拡大を図る。

外務省主催によるレセプションを開催する。

派遣期間：平成29年4月1日～5日

場所：タイ王国バンコク市

派遣人数：5名

・ アジア選手権大会へ関係者を派遣し、情報収集・分析及び人脈形成、支持の拡大を図る。

外務省主催によるレセプションを開催する。

派遣期間：平成29年4月20日～24日

場所：トルクメニスタン アシガバード市

派遣人数：5名

・ ワールドマスターズゲームズへ関係者を派遣し、情報収集・分析及び人脈形成、支持の拡大を図る。

外務省主催によるレセプションを開催する。

派遣期間：平成29年4月25日～28日

場所：ニュージーランド オークランド市

派遣人数：2名

- ・ IWF 選挙総会へ関係者を派遣し、情報収集と分析に基づく戦略により、役員ポストを獲得する。  
 外務省主催によるレセプションを開催する。  
 派遣期間：平成29年5月26日～31日  
 場 所：タイ王国バンコク市  
 派遣人数：5名
- ② 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、海外より役員・指導者・選手を招へいし、IF役員ポスト獲得支援に繋げる次の事業を実施する。  
 「短期受け入れプログラム」
  - ・ 招へい事業：アジア地区交流事業  
 招へい期間：平成29年9月4日～10日  
 招へい人数：役員6名、選手4名
  - ・ 招へい事業：オセアニア地区交流事業  
 招へい期間：平成29年12月18日～24日  
 招へい人数：役員6名、選手4名
- (2) 生涯スポーツの振興
  - ・ 国際マスターズゲームズへの派遣  
 大会会期：平成29年4月22日～27日  
 場 所：ニュージーランド オークランド市  
 派 遣： マスターズ委員会にて選考
- (3) 情報の収集と情報誌の発刊
  - ① IWF及びAWFの会議及び大会に代表者を派遣し、情報収集と併せてIWF・AWFとの連携を図るため役員を派遣する。
    - ・ 世界ユース選手権大会（IWF関係会議）  
 期日：平成29年 4月 1日～12日 場所：タイ王国 バンコク市
    - ・ アジア選手権大会（AWF関係会議）  
 期日：平成29年 4月20日～30日 場所：トルクメニスタン
    - ・ IWF選挙総会  
 期日：平成29年 5月27日～6月2日 場所：タイ王国 バンコク市
    - ・ 世界ジュニア選手権大会（IWF関係会議）  
 期日：平成29年 5月13日～15日 場所：東京都
    - ・ アジアユース&ジュニア選手権大会（AWF関係会議）  
 期日：平成29年 7月20日～31日 場所：ネパール国 カトマンズ市
    - ・ 世界選手権大会（IWF関係会議）  
 期日：平成29年11月24日～12月6日 場所：アメリカ合衆国 アナハイム市
  - ② スポーツ振興くじの助成を受けて、平成28年度年鑑、会報126号、会報127号、会報128号を発刊する。主な内容は次のとおり。
 

年鑑：平成28年度の協会主催競技会及び主要国際大会の成績  
 協会組織図、協会役員名簿、支部協会役員名簿、平成28年度事業・決算報告、公認最高記録及び記録樹立表、ランキング表等

会報：平成29年度事業計画・予算、各種事業報告、大会講評、ブロック大会以上の競技会及び主要国際大会の成績、各種研究成果報告
- (3) 用器具等の検定及び公認  
 記録競技（重量）であることから、バーベルはじめ用器具が適確でなければならない。本協会器具公認認定規則に基づき、高品質で絶対の安全性と機能性のあることを確認するなかで申請のあった器具に対して認定手続きをすすめる。
- (4) 顕彰
  - ① 本協会表彰規程に基づき、功労賞、優秀選手賞、優秀指導者賞の表彰を、また、役員のご感謝状贈呈に関する基準により顕彰を行う。  
 表彰式は、臨時社員総会時に行う。
- (5) アンチドーピング活動  
 スポーツの価値を損ない、フェアプレイの精神に反し、競技者の健康を害する、反社会的行為であるドーピングに対する啓発と検査実施により撲滅に努める。

① 啓発・教育活動

- ・ JADAが作成したドーピング防止ガイドブック (PLAY TRUE)を指導者・選手に配付 (2,000部)し情報を提供する。文書にて各支部協会に各種情報を伝達する。
- ・ 各種競技会前の監督会議にて最新情報を伝達し、啓発・教育活動を行う。
- ・ アウト・リーチを全国高等学校選手権 (男女) 及び国民体育大会で開催する。

② 講習会・研修会の開催

スポーツ振興くじの助成を受けて、次の事業を実施する。

- ・ ターゲットエイジ選手・指導者講習会  
5月3日 味の素ナショナルトレーニングセンター
- ・ 全国高校女子選手権大会参加者講習会  
7月21・22日 札幌西区体育館
- ・ 関東国体ブロック大会参加者講習会  
8月18日 高崎市中央体育館
- ・ 東北国体ブロック大会参加者講習会  
8月19・20日 三種町琴丘総合体育館
- ・ 四国国体ブロック大会参加者講習会  
8月19・20日 徳島県立科学技術高校
- ・ 九州国体ブロック大会参加者講習会  
8月19・20日 諫早農業高校
- ・ 中国国体ブロック大会参加者講習会  
8月19・20日 広島県立戸手高校
- ・ 近畿国体ブロック大会参加者講習会  
8月20日 尼崎市記念公園ベイコム総合体育館
- ・ 北信越国体ブロック大会参加者講習会  
8月26・27日 小浜市民体育館
- ・ 東海国体ブロック大会参加者講習会  
8月27日 清水ナショナルトレーニングセンター
- ・ 大学生研修合宿参加者講習会  
9月16日 味の素ナショナルトレーニングセンター
- ・ ジュニアエリート研修合宿参加者講習会  
12月21日 味の素ナショナルトレーニングセンター
- ・ ジュニアユース研修合宿参加者講習会  
12月25日 九州国際大学

③ ドーピング検査

スポーツ振興くじの助成を受けて、競技会検査を実施する。(世界ジュニア選手権大会を含む。尿検査・血液検査合計で186検体を検査する。)

- ・ 日本体育協会が国民体育大会時に行う検査に協力する。

④ TUE申請大会の指定によるその実践

世界選手権大会等の国際大会出場者には、TUEの申請が不可欠である。国内競技会においては徹底されていない状況であることから、次の2大会を指定し申請の徹底を図りアンチドーピングの意識高揚を促す。

全日本選手権大会 国民体育大会

⑤ ADAMSへの居場所情報報告の徹底

- ・ JOC認定の強化指定選手及びIWFからの指定選手並びに国際大会参加選手は、居場所情報をJADAに報告する義務がある。報告をしないこと及び居場所情報に基づく競技会外検査で所定の場所に行かない場合は居場所情報違反としてペナルティーの対象となることから報告の徹底を指導する。
- ・ 報告の確認・督促、他の選手の情報の提供等をメールし未提出をなくす。

(6) 審判員の資質向上

① 審判講習会の開催

本競技は、判定に対する抗議権がない。判定は公正・公平であり選手に不利益があつてはならない。審判員の資質の向上を目的に次の講習会を開催する。

- ・ 対象者： 国内1級審判資格、国際審判資格所持者 (義務研修) 及び平成29・30年度に国内1級審判を受験希望する審判員を対象とする。
- ・ 講習会： 北海道ブロック  
期日： 平成29年 8月19日 (土) 13:00～  
場所： 北海道 士別市総合体育館  
東北ブロック  
期日： 平成29年 8月18日 (金) 13:00～  
場所： 秋田県 三種町教育委員会会議室



関東ブロック  
 期日 : 平成29年 9月23日(土) 13:30～  
 場所 : 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター  
 北信越ブロック  
 期日 : 平成29年 8月26日(土) 14:00～  
 場所 : 福井県 小浜市 サンホテルやまね  
 東海ブロック  
 期日 : 平成29年 8月26日(土) 10:00～  
 場所 : 静岡県 清水ナショナルトレーニングセンター  
 近畿ブロック  
 期日 : 平成29年 8月19日(土) 時間調整中  
           20日(日) 時間調整中  
 場所 : 兵庫県 尼崎市記念公園ベイコム総合体育館  
 中国ブロック  
 期日 : 平成29年 8月19日(土) 14:00～  
 場所 : 広島県 佐伯区スポーツセンター  
 四国ブロック  
 期日 : 平成29年 8月19日(土) 9:00～  
 場所 : 徳島県 県立科学技術高校会議室  
 九州ブロック  
 期日 : 平成29年 8月18日(金) 13:00～  
 場所 : 長崎県諫早市 諫早観光ホテル道具屋  
 沖縄(特別開催)  
 期日 : 平成29年 8月 日(土) 13:00～ 調整中  
 場所 : 沖縄県糸満市 スポーツロッジ糸満

② 国際大会へ審判員等を派遣し、資質の向上を図ると同時に国際基準での競技運営能力の向上にも努める。

- ・ 世界ユース選手権大会  
 派遣期間 : 平成29年4月1日～4月12日  
 場所 : タイ王国 バンコク市  
 派遣人数 : 3名
- ・ アジア選手権大会  
 派遣期間 : 平成29年4月22日～4月29日  
 場所 : トルクメニスタン アシガバード市  
 派遣人数 : 2名
- ・ 世界ジュニア選手権大会  
 派遣期間 : 平成29年6月13日～6月24日  
 場所 : 東京都 大田区  
 派遣人数 : 3名
- ・ アジアユース&ジュニア選手権大会  
 派遣期間 : 平成29年7月21日～7月30日  
 場所 : ネパール王国 カトマンズ市  
 派遣人数 : 2名
- ・ ユニバーシアード大会  
 派遣期間 : 平成29年8月17日～8月26日  
 場所 : 台湾 台北市  
 派遣人数 : 1名
- ・ 日韓中ジュニア交流競技会  
 派遣期間 : 平成29年8月24日～8月26日  
 場所 : 茨城県高萩市 高萩市文化センター大ホール  
 派遣人数 : 2名
- ・ アジアインドアゲーム  
 派遣期間 : 平成29年9月17日～9月27日  
 場所 : トルクメニスタン アシガバード市  
 派遣人数 : 2名
- ・ 日韓中フレンドシップ大会  
 派遣期間 : 平成29年11月9日～11月13日  
 場所 : 北海道士別市 士別市総合体育館  
 派遣人数 : 2名
- ・ 世界選手権大会  
 派遣期間 : 平成29年11月24日～12月7日  
 場所 : アメリカ合衆国 アナハイム市  
 派遣人数 : 2名

- (7) 審判員の審査と認定  
申請に基づき公認審判員の審査を行い適確に認定を行う。新たな会員登録システムにおいて審判員の管理をする。
- (8) 競技規則集の販売  
平成29年度に更新する競技規則集を希望者に販売する。価格は1,000円である。
- (9) 暴力、パワハラ、セクハラ等撲滅活動
- ・ 暴力、パワハラ、セクハラ等の相談窓口の設置  
些細なことでも相談できるシステムとして、本協会のホームページ（トップページ）に「STOP ハラスメント・暴力」相談窓口をクリックするとにより、メール送信できるように窓口を設置した。確認できるのは、倫理委員長と協会事務局のみである。
  - ・ 暴力、パワハラ、セクハラ、倫理に係わる研修  
次の研修会・委員会・総会・会議等を通じて研鑽を深める。  
全国指導者研修会  
全国高等学校体育連盟ウエイトリフティング専門部全国委員会  
全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技会監督会議  
全日本学生ウエイトリフティング連盟総会  
全国理事長会議
  - ・ 指導者・選手対象のアンケート調査を実施し現状分析を行う。
- (10) ホームページの充実整備  
法人として公開しなければならない情報はもとより、役員・選手のニーズに合わせた内容及び一般のユーザーの要望にも応えられるよう新たに構築し刷新する。
- (11) 記録の公認
- ① 競技・競技会規則Ⅷに基づき、日本記録を認定し公表する。公認の区分は男女同一で、日本記録、ジュニア日本記録、大学記録、高校記録、中学記録、マスターズ記録である。

#### IV. 大会開催事業

##### 1. 国際大会開催事業

国際競技力の向上、競技の普及・振興、国際大会運営能力向上のため、次の国際大会を開催する。

- ① 2017年世界ジュニア選手権大会  
会期：平成29年6月16日～23日  
会場：大田区総合体育館
- ② 2017年日韓中ジュニアスポーツ交流競技会  
主催：公益財団法人日本体育協会  
後援：公益財団法人茨城県体育協会  
会期：平成29年8月25日～8月26日  
会場：茨城県高萩市文化センターホール
- ③ 2017年日韓中フрендシップ大会  
会期：平成29年11月11日～12日  
会場：北海道士別市総合体育館

##### 2. 国内大会開催事業

競技力の向上、競技の普及・振興、生涯スポーツの振興発展ため、次の大会を開催する。

- ① 大会名：第63回全日本学生個人選手権大会・第29回全日本女子学生選手権大会  
期日：平成29年4月28日～30日  
会場：大阪府羽曳野市 羽曳野コロセアム
- ② 大会名：第77回全日本選手権大会・第31回全日本女子選手権大会  
期日：平成29年5月26日～28日  
会場：栃木県小山市 県南体育館
- ③ 大会名：第19回全国高等学校女子選手権大会  
期日：平成29年7月21日～23日  
会場：北海道札幌市 札幌西区体育館
- ④ 大会名：第64回全国高等学校選手権大会  
期日：平成29年8月2日～6日  
会場：福島県福島市 福島明誠高校体育館
- ⑤ 大会名：第35回全日本マスターズ選手権大会  
期日：平成29年8月17日～20日  
会場：新潟県津南町 ニューグリーンピア津南体育館

- ⑥ 大会名：第31回全国男子中学生選手権大会・第16回全国女子中学生選手権大会  
 期日：平成29年8月23日・24日  
 会場：石川県珠洲市「珠洲健民体育館」
- ⑦ 大会名：第72回国民体育大会  
 期日：平成29年10月5日～9日  
 会場：愛媛県新居浜市 新居浜市市民文化センター（大ホール）
- ⑧ 大会名：第62回全日本学生新人選手権大会  
 期日：平成29年10月20日～22日  
 会場：埼玉県上尾市 埼玉県スポーツ総合センター体育館
- ⑨ 大会名：文部科学大臣杯第63回全日本大学対抗選手権大会2部  
 文部科学大臣杯第18回全日本大学対抗女子選手権大会2部  
 期日：平成29年11月3日～5日  
 会場：大阪府羽曳野市 羽曳野コロシアム
- ⑩ 大会名：内閣総理大臣杯第54回全日本社会人選手権大会  
 レディースカップ第9回全日本女子選抜選手権大会  
 期日：平成29年11月22日～26日  
 会場：福井県小浜市 小浜市民体育館
- ⑪ 大会名：文部科学大臣杯第63回全日本大学対抗選手権大会1部  
 文部科学大臣杯第18回全日本大学対抗女子選手権大会1部  
 期日：平成29年12月23日～12月25日  
 会場：埼玉県さいたま市 さいたま市記念総合体育館
- ⑫ 大会名：JOCジュニアオリンピックカップ第38回全日本ジュニア選手権大会  
 期日：平成30年3月8日～3月10日  
 会場：埼玉県上尾市 埼玉県スポーツ総合センター体育館
- ⑬ 大会名：第14回全日本学生選抜大会  
 期日：平成30年3月10日・11日  
 会場：埼玉県上尾市 埼玉県スポーツ総合センター体育館
- ⑭ 大会名：第33回全国高等学校選抜大会  
 期日：平成30年3月24日～3月27日  
 会場：石川県金沢市 金沢市総合体育館

## V. 会務

本会の目的達成及び業務を達成するため、次の会議を開催する。

### (1) 社員総会の開催

- ① 平成29年度 定時社員総会  
 ・ 期日 平成29年6月25日（日）  
 ・ 場所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ② 平成29年度 臨時社員総会  
 ・ 期日 平成30年3月17日（土）  
 ・ 場所 上野精養軒会議室

### (2) 理事会の開催

- ① 第1回理事会  
 ・ 期日 平成29年6月3日（土）  
 ・ 場所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ② 第2回理事会  
 ・ 期日 平成29年6月25日（日）  
 ・ 場所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ③ 第3回理事会  
 ・ 期日 平成29年9月9日（土）  
 ・ 場所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ④ 第4回理事会  
 ・ 期日 平成29年12月9日（土）  
 ・ 場所 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ⑤ 第5回理事会  
 ・ 期日 平成30年3月17日（土）  
 ・ 場所 上野精養軒会議室

## VI. 財政の確立

各種事業の推進に、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本体育協会、外務省、スポーツ庁、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団等に対し、助成金・委託金・補助金等の要望・申請を行い、本会の事業実施への充当財源に努める。

財政基盤確立のため、定款に基づく賛助会員の募集に努める。また、公益法人認定後は、

本法人が免税募金を主体的に実施できることから、加盟団体及び関係者に広く募金を呼び掛ける。

協賛企業の開拓を積極的に行い協賛契約締結の拡大に努める。  
国際大会開催における、大会広告スポンサー獲得に努める。

## Ⅶ. 2020年に向けての計画

### (1) 選手強化計画

- ① 2020年オリンピック対策特別強化プランに基づく強化の推進
  - ・ 2017年以降の世界選手権大会での獲得目標得点の設定
  - ・ 2020年の東京オリンピック大会の出場目標人数の設定
    - 女子：最大数 男子：最大数マイナス1名
  - ・ 2020年の東京オリンピック大会の日標
    - 女子：複数メダル獲得 男子：メダル獲得 全員入賞
- ② PDCAサイクルの確認に基づく強化の推進
- ③ 指導者の育成

### (2) 競技の普及振興対策

- ① 5000人対策プロジェクト設置
  - ・ 登録選手数（現在：選手のみ3500人）を1500人増やし5000人とする（役員を含めると7000人の登録者数を目指す）
  - ・ 競技の露出の増大を図る
  - ・ メディアとタイアップする
  - ・ 小学生の大会を開催する
  - ・ 全国規模の中学生の大会を増設する
  - ・ 他の競技との連携を図る

### (3) 国際発信力、国際大会運営能力の向上

- ① IWF・AWF役員ポストの確保
  - ・ 2017年国際ウエトリフティング連盟選挙にて、副会長又は理事及び複数委員会ポスト確保
  - ・ 2019年アジアウエトリフティング連盟選挙にて、副会長・理事・複数委員会ポスト確保
- ② 世界・アジアの各選手権大会及び国際総合大会へのテクニカルオフィシャルの派遣数増による国際大会運営能力の向上
- ③ 国際大会の日本開催
- ④ 海外研修

### (4) 組織運営（ガバナンス、コンプライアンスの向上）

- ① 事務局職員の増員等の検討
- ② コンプライアンスマニュアルに基づく啓発
- ③ （仮称）アスリート委員会又はアントラージュ委員会設置の検討

### (5) 国際大会の開催

- ・ 競技力の向上、国際大会運営能力の向上及び競技の普及振興を目的とする
- ・ 2017年世界ジュニア選手権大会の開催
  - 会期：平成29年6月13日～23日（競技日：16日～23日）
  - 場所：東京都 大田区総合体育館

### (6) 財政の確立

- ① 免税寄付金の募集拡大
- ② 賛助会員の拡大
- ③ 登録者（役員・選手）の増大（登録料の見直し）
- ④ 協賛金収入の拡大
  - ・ 日本代表トップパートナー
  - ・ 日本代表オフィシャルパートナー
  - ・ オフィシャルスポンサー
  - ・ 大会スポンサー

Ⅷ. 資金調達及び設備投資の見込みについて  
 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込み

借入れの予定			あり
事業番号	借入先	金額	使途
公1	みずほ銀行	60,000,000円	世界ジュニア選手権大会経費のため (補助金給付までの資金として)

(2) 設備投資の見込み

設備投資の予定			なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途